
平行世界を巡る（仮）

平民

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平行世界を巡る（仮）

【Nコード】

N7205Z

【作者名】

平民

【あらすじ】

この物語は一般人の主人公の日常が非日常に変わり、その中でどのように生きていくかの話です。

注意書き（前書き）

22時に書いたのもうこんな時間だよ

注意書き

この物語を読むための注意点があります。

1 この作品は作者が中学生のときに考えていたものであり、最近思い出しどんなものだったかを整理するための自己満足的物語です。

2 上に書いた通り厨二病全開のぐだぐだな物語になります。なので嫌な方は戻るボタンを押すなりブラウザを閉じてください。

3 更新は毎日を目指しますが忙しいときは2日〜7日かかるかもしれません。

この3つの注意点を見てそれでもいい！という方のみ先に進んでください。

注意書き（後書き）

後悔も反省もしている

プロローグ（前書き）

やはり反省も後悔もしている

プロローグ

また新しい朝が来た。俺は目覚まし時計を止めて布団からでて朝食を食べるためリビングに行く。

眠い。かなり眠い。昨日遅くまでゲームをやっていたからか？そう思いながらリビングまで進んでいく

「おはよう」

「おはよう」

挨拶をしてきたのは母である。俺は自分の席に行き朝食のトーストと目玉焼きを食べる 食べる

「ごちそうさま」

そういい歯ブラシをとりに行くさっさと歯磨き粉をつけ歯を磨く。

なぜ、歯を磨くのか思いながら磨く

面倒になってみたのですがすぐにゆすぐ。寝癖をとるのを忘れずに。

「行ってきます」

そういい学校へ行く。学校までは10分ほどで着く。その間にこの前見ていたネット小説を思い出す。

たしかアニメを題にした転生物である。 まあ、現実では起きないことなので軽く読んでいた。しかし、非現実的だから面白く感じるものであり現実だったらヘタレでチキンな俺は逃げるに違いない、と思う。そんなことを考えると学校に着くいつもと同じような時間に着き教室に着く。

「起立。礼。着席。」

その号令で今日の学校は終わりだ。授業はつまらないので飛ばした。このような平々凡々な日常を14年繰り返してきた。やはり、家に帰りさつさと宿題を終わらせパソコンの電源をいれネット小説を見るやはり転生物である。

「寝るか」

そうつぶやき電気を消し就寝する。また、同じことの繰り返しだ。だからこう思いこうつぶやいた

「この日常がフィクションのようになればなあ」

しかし、俺はこの独り言を後悔した。

なぜなら……

あのようなことが起こるとはおもわなっかたからだ。

プロローグ（後書き）

かなり短いし、恥ずかしいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7205z/>

平行世界を巡る（仮）

2011年12月24日01時00分発行